



週報 第3095回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 真理子
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org

ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータリークラブ
Izumiotsu Rotary Club



今週の例会(2020年12月18日)

■ プログラム

忘年クリスマス例会

■ 次週のプログラム

12月25日:卓話担当 深井 喜一 会員

■ 今後の予定

- ・1月1日:定款の規定により例会休会
- ・1月8日:新年会長挨拶

■ 祝 誕生日

八木 秀富(19日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

■ 先週の例会

会長の時間

コロナの感染拡大が止まりません。そんな中、いつもとは違う形で感染に気を付けながら例会を続けさせていただいています。このような形であれば、外にでて生活はされているわけですか



白谷 喜世彦 会長

ら、感染リスクは高くないと考えています。なぜ、このような状況でも例会を続けるのか。パンデミックという昔のテレビ番組を覚えておられますか。これは真ん中にカーテンがあって、男女二人がそのカーテン越しにいろんな質問に答えながら最後にカーテンがあいてご対面ということとで実際に合うわけです。すると、話をしてくれるだけとまた違った反応があったりするわけです。こうやって人は実際に会ってみたいとわからもんだと思います。いま、リモートワークが盛んにおこなわれていて新たな働き方として脚光をあびています。しかし、大手が主にリモートワークをすすめています。それなりに効果をあげているかのようにいわれていますが、やはり足りないことが多くて、結局下請けや周りがそれを補っているケースが多く見受けられるようです。やはり人とひとは合わないといわれない、できないことが多い人です。特に新しいことをやったり、知らない人ややっていくときには実際にあって、ごはんを食べて、一緒に遊ばないとなかなかうまく仕事が進まないように思われます。私自身、ロータリークラブに入った当初は出席率がいいほうではなかったのですが、仲間に誘われて、参加するようになるとやはり違った人間関係が構築できてきたように思います。こうやって、人はやはり実際にあわないといけものだと思います。そういうことで、大阪府から会合をやめてくれという話ができるまではこのような形

IZUMIOTSU ROTARY CLUB

第3095回

でリスクをできるだけ避けて例会をつづけていこうと思います。

■ 幹事報告 小門 茂樹 幹事

○大阪金剛ロータリークラブ例会変更

12月10日・17日(木)の例会は休会

12月24日(水)はクリスマス家族会を中止して通常例会

12月31日(木)の例会は休会

○後ろのテーブルにマンスリーレターを置いておきますので必要な方はお手に取って下さい

○各人のマイロータリーに登録されていない方は、早めに登録の方よろしくお願ひしたいと思います

○プロジェクター、ロールスクリーン、ノートパソコンを理事会で決議頂きまして購入させて頂きました事ご報告させて頂きます

○12月16日(水)事務局お休みさせて頂きます

■ 委員会報告

○令和3年1月27日(水)泉大津市役所で献血を行います。景品のご提供よろしくお願ひ致します

(寺田 敏也 社会奉仕部門理事)

○本日例会終了後、委員会がございますのでよろしくお願ひ致します

(泉谷 仁博 会員増強・クラブ研修委員長)

○12月18日(金)の忘年クリスマス例会は、時間が夜の時間から昼の時間12時30分～、場所がホテルきららリゾート閑空より、ホテルレイクアルスターアルザ泉大津(例会場)に変更になっておりますので、お間違えのないようによろしくお願ひ致します

(南出 和成 親睦活動委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
12/11	32名	12名	—	72.73%
11/27	34名	10名	2名	81.82%

■ メークアップ

榎本(12/1 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
植村(12/4 理事役員会)

■ ニコニコ箱

・入会させて頂きます。よろしくお願ひします(西端)

・栗延さん、宜しくお願ひします(白谷)

・欠席のおわび。前回体調不良の為、欠席させて頂きました。申し訳ございません。又、本日は栗延様、卓話宜しくお願ひします(小門)

・栗延様、本日の卓話よろしくお願ひします(山本(博))

・栗延様、本日よろしく御願ひ申し上げます(釜野)

・早退のお詫び(丹農)

ニコニコ箱合計	34,000円
累計	394,000円

■ 祝 誕生日

中 透(16日)



先週のプログラム 「新たな社会的養育」



卓話講師
社会福祉法人 和泉乳児院
常務理事 栗延 雅彦 様

何らかの事情により実の親が子どもを育てられない事情がおきた時、国が育てていくという考え方を「社会的養護」と言います。

今までは施設でお預かりすることが多く、小さいお子さんは乳児院、2歳～18歳までは児童福祉施設でお預かりする形でしたが、今はもう一つ里親という制度があ

ります。養子縁組を前提とした里親や子育ても一段落したので施設の子どもを養育する養育里親という制度もあ

ります。東北の震災後では、両親が行方不明になり3親等以内の親族が育てる親族里親と云う制度、今までの養育のスキルを活かした専門里親と云う制度もあります。

イギリスやカナダ等の福祉が進んでいる国では、里親制度も進んでおり、段々と施設が無くなり、里親で子どもを育てていく形になっています。

しかしながら問題点も多く、里親先での不適切な関わりによって次の里親に行くといったドリフト(漂う)状態になったり、里親先を飛び出してホームレスになったり、最終的にキリスト教関係のシェルター(緊急一時保護施設)に入り、命を繋いでいる状況もあります。

日本では施設も残し、里親制度も進めていこうとしています。

現在大阪府は大変里親が少ない状況ですが、それは里親を高齢により辞める人が多いためです。

資料では、新潟の里親が多いとされていますが、新潟は児童養護施設が大変少ない状況であるので、その事で里親制度が進んでいるのかもしれない。

これからの養護施設は、施設をより家庭的なものにし、小規模なグループケアや一軒家を借りての6人程度のグループホームが運営の主流となってきております。また国からは、施設に対して里親制度のお手伝いや支援も求められています。

今後の施設の活動は、施設において育児スキルを養って頂いた方々を中心に、施設に結びついた里親を増やしていくお手伝いが重要な役割だと思っています。

市町村には「要保護児童対策地域協議会」と云う組織があります。

児童虐待に関わる関連団体がネットワークを組み、より活動を強めていこうとするものです。

泉大津市は、全国に先駆けて児童虐待防止ネットワーク(CAPIO)組織ができ、そのモデルとなっています。地域で子どもを見守りし、何かあったら関係機関が直ぐに動ける体制になっています。

当施設もそのネットワークの一団体として、子どもの保護者との関りを切ることの無い様に、細くても長く繋げていけるような関係構築をしています。

養子縁組には、毎日新聞の日曜版に大阪・神戸を中心に「愛の手」というコーナーがあり、里親を希望する子ども達の顔が掲載されています。関西版ですが全国から多くの問い合わせがあり、全国で里親が生まれています。

また施設の役割としては、巣立っていく子ども達の実家の役割も大事だと思っています。

施設で育ち巣立った子ども達には、実の親はいません。再び施設を訪れてきた子ども達に、子ども時代の事件や出来事等を話すこと(ライフストーリーワーク)が、実家として大変重要な事だと思っています。

施設は、子どもの養育についての相談等ができる職員を定期的に派遣する訪問事業が、今後大きな役割だと思っています。是非、何なりとご相談下さい。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB

第3095回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

=言動はこれに照らしてから=

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか